

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本文学特講Ⅱ</p>	<p>対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">阪口 和子</p>
<p>授業テーマ 『拾遺抄』を読む</p>		
<p>授業の概要と目標 『拾遺抄』は、10 世紀の末に当時の和歌の第一人者である藤原公任によって編まれた、調和と洗練を具現した和歌集である。巻の構成に注目して歌の解釈をしてゆきたい。同時に平安時代の和歌の有り様、美意識などについて考察する。</p>		
<p>評価方法 前期末、後期末にレポートを提出。</p>		
<p>テキスト プリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書 『拾遺抄』 『新日本古典文学大系 拾遺和歌集』</p>	<p>著者 片桐洋一 小町谷照彦</p>	<p>出版社 大学堂書店 岩波書店</p>
<p>授業スケジュール・内容 授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、平安時代の和歌について概説。 2、 同上 3、『拾遺抄』と『拾遺和歌集』について解説。 4、 同上 5、歌言葉、歌語について解説。 6、 同上 7、『拾遺抄』 恋部をよむ 8、 ①歌を内容別にグループに分けて、1 首ずつ解釈する。 9、 同上 10、 同上 11、②各グループのテーマについて考察する。 12、 同上 13、 同上 15、③巻の構成について、公任の意図を探る。 16、『拾遺抄』 雑部をよむ。 ①歌を内容別にグループに分けて、1 首ずつ解釈する。 17、 同上 18、 同上 19、 同上 20、 同上 21、 同上 22、②各グループのテーマについて考察する。 23、 同上 24、 同上 25、③巻の構成について、公任の意図を探る。 26、 同上 27、 同上 28、『拾遺集』と『拾遺抄』の構成の相違について講義する。 29、 同上 30 同上 		